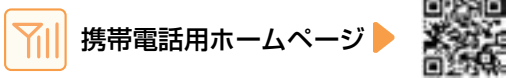




発行/相模原市
〒252-5277
相模原市中央区中央2丁目11番15号
ホームページ
<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/>
編集/総務局渉外部広聴広報課 ☎042-769-8200



潤水都市 さがみはら

「潤水都市 さがみはら」は、政令指定都市・相模原の、未来へ向かう合言葉です。

TOPICS トピックス

米軍基地問題について国に要請



前原外務大臣(左)に基地問題の解決を要請する加山市長(右)

11月、本市と市米軍基地返還促進等市民協議会は、相模総合補給廠の一部返還・共同使用の早期実現や、同補給廠の焼夷弾処理、米軍機による騒音被害の解消、キャンプ座間ゴルフ場からのゴルフボール飛び出し問題などの米軍基地問題に関する要請を国・米軍等に行いました。

お問い合わせ 渉外課 ☎042-769-8207

LINE UP 今号の主な内容

6・7

地域福祉と民生委員の活動

2 この1年を振り返る さがみはら2010

3 さがみはら都市経営ビジョン アクションプラン 平成17年度～21年度の取り組み結果

4 市民文化祭の入賞者が決定しました

5 年末年始のお知らせ

12 ちゅうおう区版

別冊 ウェルネス通信(保健・介護予防事業案内)



「指定都市市長会議 in 相模原」で挨拶する加山市長(5月11日)

今年4月、本市は政令指定都市として新たにスタートしました。そして、3つの区を設けるとともに、県に代わり数多くの専門的な事務を行うようになりました。また、周辺の自治体を含めた広域的な圏域の拠点となる都市として、圏域全体の発展をリードする役割もますます高まっています。

本市では、政令指定都市への移行を機に、指定都市市長会や九都県市首脳会議など、大都市等による連携組織に加入し、広域的または大都市に共通する課題について、共同研究や国への提言・要望活動を行っています。

今後も、このような他都市などとの交流や連携の成果を生かし、「暮らし先進都市」の実現に向けた施策の立案・推進に取り組んでいきます。

～政令指定都市・相模原誕生～

4月1日、全国で19番目、戦後に誕生した市としては初の政令指定都市となり、移行宣言式と各区役所の開所式を行いました。

また、4月14日には政令指定都市・相模原の誕生を祝う「政令指定都市移行記念式典」をグリーンホール相模大野で開催しました。



～新たな広域行政の取り組みがスタート～



会議後の記者会見

5月11日、全国19の政令指定都市の市長による「指定都市市長会議」が本市で開催され、「地域主権に向けた取り組み」などについて話し合いました。



10月13日、県知事と、横浜市、川崎市、相模原市の市長による「四首長懇談会」が開催され、共同して取り組む課題や地方分権改革などについて話し合いました。



第58回 九都県市首脳会議

11月15日、首都圏の1都3県(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)の知事と政令指定都市(横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)の市長で構成する「九都県市首脳会議」が開催され、国への政策提言や広域的課題について話し合いました。

今年4月の加入後2回目の出席となった本市からは、国に対し、ものづくり中小企業の国際競争力強化に向け、人材育成や新たな市場開拓に対する戦略的、実効的な支援体制を確立し、早期に実施するよう要望することを提案し、合意されました。そして、12月7日に加山市長が九都県市を代表して、厚生労働大臣等に要望しました。

お問い合わせ 広域行政課 ☎042-769-8248

この1年を振り返る さがみはら 2010

2010年も残すところあとわずかになりました。今年、政令指定都市に移行し、新たな事業や取り組みを行うなど、大きな節目の年になりました。ここで、今年1年を振り返り主な出来事をご紹介します。

主な出来事

- 1月2日・3日 青山学院大学が第86回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)で総合8位に入り、シード権を獲得
- 14日 相模原市人事委員会を設置
- 2月4日～26日 政令指定都市の移行に関する市民説明会を公民館など市内各地で開催
- 16日 S.C.相模原のJリーグ準加盟が承認
- 3月9日 観光案内の達人「相模原市観光マイスター」が決定
- 15日 南清掃工場が竣工
- 20日 「政令指定都市・相模原誕生記念見晴らしスペシャルデー！」としてさまざまなイベントを開催
- 30日 市長と松沢県知事が、県から市へ移譲される事務の引継書に調印
- 31日 市民公募のシティセールスコピー「潤水都市 さがみはら」が決定
- 4月1日 全国で19番目の政令指定都市に移行、緑区・中央区・南区の3区を設置
- 1日 新・相模原市総合計画、各部門別計画がスタート
- 1日 ふるさと自然体験教室「ふじの体験の森 やませみ」がオープン
- 1日 町田市との広域証明発行サービスを開始
- 1日 史跡勝坂遺跡公園、旧中村家住宅を供用開始
- 1日 南障害者地域活動支援センター開所
- 3日 銀河連邦に北海道大樹町「タイキ共和国」が加盟、市民桜まつりで加盟調印式を開催
- 14日 政令指定都市移行記念式典を開催
- 24日・25日 祝 政令指定都市相模原フェスティバル2010 風と大地の饗宴を開催
- 5月11日 指定都市市長会議を市内で開催(初参加)
- 13日 九都県市首脳会議に初参加
- 6月1日 中小企業の優れた新製品の販路開拓を応援する「相模原市トライアル発注認定制度」を創設
- 11日 北澤防衛大臣と面会し、キャンプ座間ゴルフ場からのゴルフボール飛び出し防止について要請
- 15日 「暮らし先進都市」をめざし、福祉、環境、経済、シティセールスなど暮らしに密着した課題への対応や市民とのパートナーシップを進める6つのプロジェクトチームが始動
- 18日 小惑星探査機「はやぶさ」のカプセルが、JAXA相模原キャンパスに到着
- 7月1日 都市経営ビジョン・アクションプランを改定
- 5日 市内2か所目の病後児保育室を北里大学病院に開設
- 8日 県央相模川サミットを市内で開催
- 30日 3区で第1回区民会議を開催
- 30日・31日 小惑星探査機「はやぶさ」のカプセルを世界に先駆け、市立博物館で特別展示
- 31日、8月1日 事業仕分けを実施
- 8月1日 「ネーミングライツ導入方針」を策定
- 1日 AED(自動体外式除細動器)使用可能施設登録制度を開始
- 21日 第92回全国高等学校野球選手権大会で東海大学付属相模高校が準優勝、市役所ロビーでパブリックビューイングを開催
- 9月11日 橋本と相模原を結ぶ新たな立体交差「橋本小山ふれあい立体」が開通
- 22日 相模原市政令指定都市推進市民協議会が解散
- 10月1日 「潤水都市 さがみはら」のロゴデザインが決定
- 1日 市民、企業、大学などで構成する、相模原市シティセールス推進協議会を設置
- 1日 さがみはら・ふれあいハートポイント事業を開始
- 1日 市営相模原駅南口自転車駐車場でレンタサイクルを開始
- 6日 市長とワーシンスキー在日米陸軍司令官(当時)が相模原総合補給廠の共同使用に関する覚書を交わす
- 13日 県・横浜・川崎・相模原四首長懇談会に初参加
- 20日 ひとり暮らし等高齢者世帯等への訪問(モデル事業)を開始
- 11月1日 中央区の一部と南区の市立中学校15校で給食を開始
- 12日 中国無錫市との友好都市締結25周年記念式典を開催
- 20日・21日 潤水都市さがみはらフェスタを開催



南清掃工場が竣工

3月15日、南清掃工場が新しく生まれ変わりました。高度な公害防止性と環境保全性、優れた省エネルギー性を持ち、ごみを適正に処理するとともに、スラグの生成・再利用など、循環型社会へ寄与する施設になっています。

風と大地の饗宴

4月24日・25日、政令指定都市移行を祝い、全国から58の凧揚げ愛好団体が集まり、凧揚げ大会「風と大地の饗宴」を開催しました。



「はやぶさ」帰還

6月、小惑星探査機「はやぶさ」が数々のトラブルを乗り越え7年ぶりに地球に帰還し、JAXA相模原キャンパスで「はやぶさ」が持ち帰ったカプセルの開封と、分析が行われました。また、7月30日・31日にはこのカプセルを世界に先駆け市立博物館で公開し、全国から約3万人が訪れました。



事業仕分けを実施

7月31日・8月1日、40事業を対象に事業仕分けを実施しました。市ではこの結果を受け見直しを行い、より効果的、効率的な市政運営を推進していきます。



東海大相模が夏の甲子園準優勝

8月、第92回全国高等学校野球選手権大会で東海大学付属相模高校が熱戦を繰り広げ、準優勝を果たしました。



ロゴデザインが決定

10月1日、シティセールスコピー「潤水都市 さがみはら」のロゴデザインが、皆さんから寄せられた261点の中から決定しました。このロゴデザインとともに相模原の魅力を市内外に発信していきます。



中学校給食がスタート

11月1日から、中央区の一部と南区の中学校で給食がスタートしました。市の栄養士が献立づくりから、食材の発注までを行い、安全・安心な給食を提供するとともに、望ましい食習慣の育成など、食育にも取り組んでいきます。



潤水都市さがみはらフェスタを開催

11月20日・21日、政令指定都市移行記念イベントのグランドフィナーレとして、潤水都市さがみはらフェスタを開催しました。会場には2日間で約21万人が訪れ、ラーメンコンテストやステージパフォーマンスなどで盛り上がりました。



約76億円の改善効果を達成

さがみはら都市経営ビジョン アクションプラン(行動計画) 平成17年度～21年度の取り組み結果



市では、「生き生きと輝く、市民と創る新たな都市経営」をめざし、17年4月に22年度までの6年間の計画期間とした「さがみはら都市経営ビジョン・アクションプラン」を策定し、事業の効率化、成果・顧客・市場主義を盛り込んだ都市経営に取り組んできました。この間、津久井郡4町との合併、政令指定都市への移行により、都市としての形態が変わるとともに、「新・相模原市総合計画」との整合を図る必要があったことなどから見直しを行い、現在、計画期間を22年度～24年度とした改定後のアクションプランに取り組んでいます。

今回は、17年度～21年度の5年間の取り組み結果について、報告します。

お問い合わせ
経営監理課
☎042-769-9240

○アクションプラン全体の達成状況

取り組み項目の約75%が目標を達成

目標を達成した項目のうち、目標を見直し継続して取り組む10項目、達成していない18項目については、改定後のアクションプランにおいて継続して取り組んでいます。

アクションプラン全項目	85項目
目標を達成した項目	64項目
目標を達成していない項目	18項目
取り組みの方向性を変更した項目	3項目

○目標を達成した主な取り組み項目とその5年間の改善効果額

主な取り組み項目	5年間の改善効果額
公益法人等の経営評価システムの確立と在り方の見直し	2億 89万円
事務事業評価の改善	6億6,689万円
公立保育所の民営化	3億5,977万円
指定管理者制度への移行	3億5,545万円
企業立地の促進	6億3,443万円
保険料収納率の向上等	8億5,693万円

※取り組み内容や結果について、詳しくは市ホームページの [\[市政情報\]](#) → [\[政策・総合計画・財政\]](#) → [\[さがみはら都市経営ビジョン\(行政改革\)\]](#) をご覧ください。

○5年間の改善効果額

約76億円の改善効果

経済状況が悪化する中、事務事業評価の改善や公立保育所の民営化などの経費削減、企業立地の促進や保険料収納率の向上などの税収増に向け取り組みを継続し、5年間で右の表のとおり改善効果がありました。

年度	改善効果額
17	17億6,877万円
18	8億 726万円
19	21億8,171万円
20	10億7,785万円
21	17億5,644万円
合計	75億9,203万円

○数値目標の達成状況

項目	目標	結果	
職員定数の削減	329人削減	329人削減	
収納率※1	市税	98.5%(24年度)	98.1%
	国民健康保険税	89.2%(24年度)	86.6%
	保育料	98.3%(24年度)	97.6%
	住宅使用料	98.5%(24年度)	98.4%
市債発行の抑制	市債発行額	800億円以内	798億円
	公債費負担比率※2	15%以下	13.4%

※1 20年に同プランの中間見直しを行い、24年度までの目標を再設定した。
※2 借り入れた地方債の償還と利子の支払いに要した額が一般財源全体に占める割合。15%以上が警戒ラインとされる。

パブリックコメント ご意見をお寄せください

市民の皆さんのご意見を取り入れた条例等を策定するため、ご意見をお待ちしています。

①(仮称)市里地里山の保全等の促進に関する条例(案)

里地里山の保全と活用を図るための条例

提出先 水みどり環境課 ☎042-769-8242 FAX042-753-9413
Eメール midori@city.sagamihara.kanagawa.jp

②市屋外広告物条例の改正(案)

良好な広告景観を形成するため条例を改正

提出先 街づくり支援課 ☎042-769-9252 FAX042-754-8490
Eメール machidukuri@city.sagamihara.kanagawa.jp

③新・市支援教育推進プラン(素案)

計画的で効果的な施策推進や事業展開を図るため、本市支援教育の基本理念や基本方針等を明らかにする計画

提出先 学校教育課 ☎042-769-8284 FAX042-758-9036
Eメール edu-sien@city.sagamihara.kanagawa.jp

④市スポーツ振興計画(改定素案)

スポーツを取り巻く環境の変化を踏まえ、現在の基本目標や具体的な施策例等を見直し、さらなるスポーツ振興を進めるための計画

提出先 スポーツ課 ☎042-769-9245 FAX042-754-7990
Eメール sports@city.sagamihara.kanagawa.jp

⑤第二次市子ども読書活動推進計画(素案)

子どもの読書活動を推進するため、第一次計画における成果や課題を検証するとともに、基本方針や具体的な施策と取り組み等を明らかにする計画

提出先 市立図書館(中央区鹿沼台) ☎042-754-3604 FAX042-754-0746
Eメール tosyokan@city.sagamihara.kanagawa.jp

⑥さがみはら森林ビジョン(素案)

市内の森林と市民との新たな関わりについての将来像と、その実現に向けた施策について定めたビジョン

提出先 津久井経済観光課 ☎042-780-1416 FAX042-784-7474
Eメール tsukui-keizai@city.sagamihara.kanagawa.jp

条例(案)等の閲覧と概要版の配布場所 各担当課・行政資料コーナー・まちづくりセンター・出張所・公民館(青根・沢井公民館を除く)・図書館

※市ホームページの [\[パブリックコメント\]](#) でもご覧になれます。

意見の提出 直接か郵送、ファクス、Eメールに住所、氏名、電話番号を書いて、1月19日(必着)までに、各担当課(①～④〒252-5277 中央区中央2-11-15、⑤〒252-0233 中央区鹿沼台2-13-1、⑥〒252-5172 緑区中野633)へ

募集 美術館基本構想検討委員会の委員

市立美術館の基本構想(基本理念、機能、活動、施設、管理・運営等)について検討します。

任期 委嘱の日から2年程度(3月に委嘱予定)

対象 市内在住の20歳以上の人(他の審議会等の委員、職員、議員を除く)=2人(選考)

申し込み 文化振興課、各行政資料コーナー・まちづくりセンター・出張所・公民館(青根・沢井公民館を除く)にある応募用紙(市ホームページの [\[市政情報\]](#) → [\[審議会・情報公開・個人情報\]](#) → [\[審議会等の公募委員の募集\]](#) からダウンロード可)を直接か郵送、ファクス、Eメールで1月21日(必着)までに文化振興課(〒252-5277 中央区中央2-11-15 ☎042-769-8202 FAX042-754-7990 Eメール bunkashinkou@city.sagamihara.kanagawa.jp)へ

募集 各区のシンボルマーク・カラー

市民の皆さんがより3区それぞれに親しみを感じられるよう、各区のシンボルマーク・カラーを区ごとに募集します。決定したマーク・カラーは、将来にわたって広く使用していきます。

応募資格 市内在住か在勤・在学の人、市内で活動している人、「相模原・町田大学地域コンソーシアム」に参加している大学等の学生

賞・副賞 区ごとに

最優秀作品(1作品) 賞金10万円(予定)

優秀作品(2作品) 賞金3万円(予定)

選考結果の発表 5月頃

※1区につき応募は1点まで、3区それぞれに応募することも可能

※募集期間・内容は区ごとに異なります。詳しくは、12区各々ホームページなどをご覧ください。

お問い合わせ 緑区役所地域政策課 ☎042-775-8801
中央区役所地域政策課 ☎042-769-9801
南区役所地域政策課 ☎042-749-2135

市民文化祭の入賞者が決定しました

今年で61回目を迎えた市民文化祭が9月から11月まで盛大に開催されました。審査の結果、展示部門73人、芸能部門33人が受賞しました。主な入賞者(教育委員会賞以上)は次のとおりです(敬称略)。

展示部門

日本画
市長賞 林 忠次郎(緑区佐野川) 議長賞 菅原 薫(南区大野台)
教育委員会賞 河本 菊江(中央区淵野辺本町)

洋画
市長賞 宮本 敏夫(緑区中野) 議長賞 平野 桂子(南区上鶴間)
教育委員会賞 米倉 博幸(南区若松)

写真
市長賞 金井 勝利(中央区上溝) 議長賞 瀧上 孝義(中央区田名)
教育委員会賞 椎橋 正(中央区光が丘)

短歌
市長賞 歌代 宇多利(中央区清新)
議長賞 江成 深雪(中央区水郷田名)
教育委員会賞 児島 英(南区上鶴間)

俳句
市長賞 野口 マサ子(南区磯部) 議長賞 福田 博(中央区光が丘)
教育委員会賞 三木 満喜子(中央区田名)

川柳
市長賞 長澤 恵子(中央区相生) 議長賞 関野 春雄(南区相模大野)
教育委員会賞 堀野 政章(南区大野台)

現代詩
市長賞 神崎 政美(中央区淵野辺) 議長賞 山本 和子(緑区西橋本)
教育委員会賞 三橋 良夫(緑区西橋本)

芸能部門

吟剣詩舞大会
市長賞 末吉 繁幸(南区新磯野) 議長賞 藤田 キヌエ(中央区相生)
教育委員会賞 遠藤 昌成(中央区陽光台)

民謡大会
市長賞 緑川 美好(横浜市保土ヶ谷区)
議長賞 相川 良雄(中央区上溝) 菅野 ミドリ(中央区田名)
教育委員会賞 佐藤 二三男(南区東林間) 浜田 久仁子(中央区上溝)
お問い合わせ 文化振興課 ☎042-769-8202

家庭で児童を保育できる人を募集

市では、待機児童対策として、家庭での保育を委託する事業を始めます。

対象 市内在住で保育士資格があり、保育を行う場所が緑区橋本・大沢地区、中央区、南区のいずれかにある人=10人程度(選考)

保育日時 月~土曜日の午前8時~午後6時

委託料 保育する子どもの数(最大3人まで)に応じて支払い

申し込み 保育課(市ホームページの「暮らしの情報」→「子育て」→「保育園」→「家庭的保育者の募集について」からダウンロード可)にある申込書を1月14日(必着)までに保育課へ

※保育を補助する人が確保できることなどの条件があります。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

お問い合わせ
保育課 ☎042-769-9812



市民若葉まつりパンフレット等の協賛広告募集

パンフレット

仕様 A4判40ページ(うち広告18ページ)(予定)
発行部数 1万6,000部(予定)
配布場所 各まちづくりセンター・公民館、市民若葉まつり会場など

広告の規格	掲載金額	広告の規格	掲載金額
16分の1ページ	2万5,000円	2分の1ページ	15万円
8分の1ページ	4万3,000円	1ページ	25万円
4分の1ページ	8万円	1ページ(裏表紙)	30万円

ステージバック袖パネル

仕様 高さ2m70cm×幅3m60cm
募集数 2枚
掲載金額 1枚50万円

エアアーチ(アーチ支柱部分)

仕様 高さ2m×幅1m
募集数 2か所
掲載金額 1か所25万円

※掲載基準など、詳しくはお問い合わせください。

申し込み 協賛広告募集事務局(市印刷広告協同組合内 中央区中央3-7-5 ☎042-776-6100)、市民まつり実行委員会事務局(商業観光課内 ☎042-769-8236)にある申込用紙を3月22日までに各事務局へ

市職員を募集

選考区分	募集人数	応募資格
医師(精神保健福祉)	1人	昭和26年4月2日以降に生まれ、医師免許がある人(精神保健指定医に限る)

※採用は、原則、平成23年4月以降です。
※詳しくは、職員課、各区役所総務課・まちづくりセンターなどにある受験案内(市ホームページの「相模原市、職員募集」からダウンロード可)をご覧ください。

申し込み 受験案内に付いている申込書と職務経歴・実績書を郵送で1月7日(消印有効)までに職員課へ

お問い合わせ 職員課 ☎042-769-8213

第5代観光親善大使を募集

あなたも観光親善大使になって、相模原の魅力をもPRしてみませんか。

任期 4月1日~平成24年3月31日

賞金 7万円(他、活動時報酬有り)

募集人数 3人以内(選考)

応募資格 次の全てに該当する人

- 市内在住か在勤・在学中で、モデル等の専属契約のない18歳以上(23年4月1日現在)の人
- 観光イベントやキャンペーン、メディア等で、ステージ出演、チラシ配布、雑誌取材、テレビ・ラジオ出演など、観光PR業務ができる人
- 年間15回程度(土・日曜日、祝日を含む)の活動に参加できる人
- 市観光協会ホームページの「観光親善大使のブログ」で活動内容などの報告を積極的にできる人

申し込み 商業観光課、各経済観光課・まちづくりセンター・公民館にある応募用紙を1月20日(必着)までに市観光親善大使事業運営委員会(商業観光課内)へ

※書類審査通過者への面接(2月11日予定)で、特技のある人は演技などの披露も可

お問い合わせ コールセンター ☎042-770-7777



第4代観光親善大使

平成23・24年度 学校給食用物資納入業者指定申請

学校給食用物資の納入業者を選定するため、納入業者の指定申請を受け付けます。

区分	対象物資	発注・配送先
小学校分	小麦粉製品類、缶詰類、ジャム類、チーズ類、油脂類、海藻類など	各小学校
中学校分	穀類、油脂類、缶詰類、調味料、肉類、魚介類、青果物など	教育委員会から受注し、市が指定する委託業者に配送
各学校給食センター		各学校給食センター

※青果業者の発注にあたっては、市内業者を優先します。ただし、城山・津久井学校給食センターは緑区内の青果業者に限ります。

対象 平成23年1月1日現在、引き続き2年以上その事業を営み、国税・地方税を完納している業者

資料配布 1月6日~14日(8日~10日を除く)に学校保健課で配布します。

申し込み 直接、1月17日・18日に学校保健課(☎042-769-8283)へ

相模大野パブリックインフォメーション 広告主を募集

相模大野駅北口ペDESTリアンデッキにある大型放映機器「相模大野パブリックインフォメーション」に、長期にわたり広告を掲出する「特定広告主」を募集します。一定の枠数をあらかじめ契約するため、随時掲出する「一般広告主」より安価で放映できます。フラッシュプレーヤーを用いた上質な表現で、わかりやすく高品位な情報提供が可能です。

- **機器仕様** 52型液晶画面3台、音声なし
- **稼働時間** 毎日午前7時~午後10時(15時間)
- **広告仕様** フラッシュプレーヤーによる半静止画か静止画

- **放映期間** 4月1日~平成24年3月31日
- **放映枠数** 3画面を同時利用した20秒広告を15分間に1回放映=1日あたり60回放映

● **契約金額** 36万2,880円(半期ずつ前納)

※放映するコンテンツの制作費は含まれません。

● **申し込み** 申込書(市ホームページの「産業・ビジネス」からダウンロード可)を1月20日(必着)までに商業観光課へ

※1か月単位で広告放映する「一般広告主」も随時募集しています。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ 商業観光課 ☎042-769-9255



年末年始のお知らせ

12月29日(水)～1月3日(月) **急病・けがで困ったときは**

かかりつけ医などが休診の場合は、次のとおりお問い合わせください。

急病のとき

○**医科**〈24時間体制〉

相模原救急医療情報センター ☎042-756-9000

診療可能な医療機関〈メディカルセンター(下の地図参照)など〉を案内しますので、メモの準備をしてからお問い合わせください。

※医療相談・歯科案内はできません。

○**歯科**〈午前8時45分～11時30分、午後1時15分～4時30分〉

休日急患歯科診療所 ☎042-756-1501

※受診前にお問い合わせください。

ねんざ、打撲、脱きゅうなどのとき 〈午前9時～午後5時〉

休日当番柔道整復施療所案内 ☎0120-194199

子どもの体調のことで判断に迷ったとき 〈午後6時～10時〉

かながわ小児救急ダイヤル ☎045-722-8000

家庭での対処方法や、すぐに医療機関にかかる必要があるかなど、電話で相談できます。

日本小児科学会「こどもの救急」ホームページ

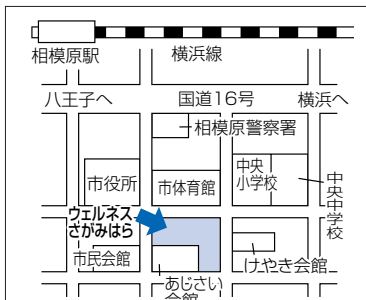
市ホームページの「[救急・急病](#)」からリンクしています。

すぐに医療機関にかかる必要があるかなど、判断の目安を案内しています。

お願い

○急病の診療は応急的なものです。後日かかりつけ医か近隣の医療機関で医師の診療を必ず受けましょう。

○受診のときは、必ず健康保険証、各種医療証を持参してください(保険証などがない場合は自費になります)。



**相模原メディカルセンター
休日急患歯科診療所**
(中央区富士見6-1-1
ウェルネスさがみはら内)



相模原南メディカルセンター
(南区相模大野4-4-1
グリーンホール相模大野1階)



相模原西メディカルセンター
(緑区中野1681-1)

ごみ収集などのお休み

お問い合わせ コールセンター
☎042-770-7777

年末年始は収集時間が変わる場合があります。必ず午前8時30分(夜間収集実施地区はそれぞれ決められた時間)までに出してください。また、粗大ごみなどの施設への持ち込みは、年末にかけて混雑しますので、なるべく早い時期に出してください。

区分	お休みの期間
一般ごみ、資源、容器包装プラの収集	12月31日(金)～1月3日(月)
粗大ごみなどの施設への持ち込み 粗大ごみ戸別収集の申し込み	12月29日(水)～1月3日(月)
し尿収集の受け付け	
浄化槽清掃の受け付け (橋本・大沢地区、中央区、南区のみ)	

市役所・その他施設のお休み

市役所、各区役所・まちづくりセンター 12月29日(水)～1月3日(月)

この期間の戸籍届け出については、市役所と市南区合同庁舎、各総合事務所で預かります。なお、緑区役所は、午前8時30分～午後5時に預かります。

その他の施設 市ホームページの「[施設一覧](#)」をご覧ください。

証明書自動交付機のお休み

12月31日(金)～1月3日(月)

※12月29日・30日の稼働時間は、午前8時30分～午後5時です。

はじめよう! 家庭生ごみ減量活動

～生ごみ処理容器購入費助成制度のご利用を～

家庭から出るごみの約3分の1が野菜くずなどの生ごみで、約80%もの水分を含んでいるため、燃やすためには余分なエネルギーが必要です。市の助成制度を利用し、生ごみダイエットをしてみませんか。

対象 市内在住で5年以内に生ごみ処理容器購入助成を受けていない人

対象容器 家庭用の2,000円を超える生ごみ処理容器

○生ごみ処理容器(コンポスト、密閉式)

= 1世帯2台まで

○電動式生ごみ処理機

= 1世帯1台まで

助成額 購入金額(本体価格のみ)の2分の1

(100円未満切り捨て、上限=3万円)

※橋本台・新磯野リサイクルスクエアに見本があります。

お問い合わせ 資源循環推進課 ☎042-769-8245

協働事業提案制度の 運営団体を募集

協働事業の選考のために行う公開プレゼンテーションや公開中間ヒアリング、提案団体の支援などを市と協働で行います。

対象 市内に事務所がある、特定非営利活動法人が平成23年4月1日までに特定非営利活動法人の成立が見込まれる団体で、一定の要件を満たす団体=1団体(選考)

申し込み 市民協働推進課、さがみはら市民活動サポートセンターにある募集要項に付いている応募書類(市ホームページの「[市政情報](#)」→「[市政への参加・連携](#)」→「[パートナーシップ](#)」からダウンロード可)を1月31日(必着)までに市民協働推進課へ

説明会

日時 12月20日(月)午前11時～正午

会場 けやき会館 ※希望団体は直接会場へ

お問い合わせ 市民協働推進課 ☎042-769-9225

高校生等に奨学金を貸与

経済的理由により修学が困難な人に、奨学金を貸与します。

対象 高等学校、中等教育学校(後期課程)、高等専門学校、専修学校(高等課程)への修学が困難な市内在住の平成23年4月入学予定者か在学者

貸与額 月額9,900円(高等専門学校等の新5年生以上は月額9,600円)

※奨学金は卒業後に返還していただきます。

申し込み 1月28日までに、新1年生は在学する中学校、その他の人は学務課へ

お問い合わせ 各中学校
学務課 ☎042-769-8282

12月26日～31日

歳末火災特別警戒を実施

～住宅用火災警報器は

あなたと家族を守ります!～

何かと慌ただしい年の瀬は、火の元の点検や後始末がおろそかになりがちです。また、空気が乾燥して火災が起こりやすい時季でもあります。火を使うときや出掛けの前、就寝前など、日頃から火の用心を心掛け、火災を発生させないようにしましょう。

住宅防火いのちを守る3つの習慣

○寝たばこは、絶対にやめる。

○ストーブは、燃えやすいものから離して使う。

○ガスこんろなどから離れるときは、必ず火を消す。

お問い合わせ 警防・救急課 ☎042-751-9141





いきいきサロンなどの開催を通じて地域住民の交流に手を差し伸べる民生委員(手前)

地域福祉と民生委員の活動

民生委員は近所の頼れる相談相手です

主な対象



市地域福祉計画の概要

地域福祉

同計画では、「地域福祉とは、住み慣れた家庭や地域で、誰もが安心していきいきと暮らしていくために、福祉サービスなどを利用しながら、地域での人と人とのつながりを大切に、支えあいの関係を築いて、地域全体を明るく元気にしていこうという取り組み」と定めています。地域福祉の担い手は、市に住んでいる人、働いている人など地域住民、自治会、民生委員、企業、ボランティア、福祉団体、NPO、社会福祉施設、社会福祉協議会、市など地域社会を構成する全ての市民で、その受け手は全ての地域住民です。

地域の課題

少子高齢化の進行や都市化の進展、社会環境の変化などにより、地域社会の課題は多様化・複雑化してきています。
○高齢者の孤独死
○子育てに悩む親
○老老介護(高齢者が高齢者を介護)
○近所付き合いがなく家族等の状況がわからない世帯
○介護ヘルパーが来ない日はごみ出しなどが難しくなる高齢者
○家庭不和など家族関係に問題がある世帯 など

基本理念と基本目標

同計画の基本理念の実現に向け、やさしさと思いやりの心を育み、地域の課題をともに考え、福祉の活動やサービスをより豊かなものとするため、基本目標を掲げ、取り組みを進めています。

基本理念

わたしたちで支えあう 福祉のまちをめざして

基本目標

- 1 わたしたちの福祉への理解と意識の向上をめざします
- 2 わたしたちの参加と連携により福祉コミュニティづくりを進めます
- 3 わたしたちが選びやすく利用しやすい福祉サービスを充実します
- 4 わたしたちのネットワークで福祉の力を伸ばします
- 5 わたしたちが参加しやすい環境づくりに取り組みます

地域での主な取り組み

地区社会福祉協議会・自治会・民生委員・ボランティアなどの活動

多様化・複雑化したニーズや課題に対応するため、解決に直結する支援活動の展開や、同じ悩みを持つ人との交流ができる場を設けるなど、「助けあい・支えあう」地域社会の実現をめざした取り組みを進めています。
○通学路での子どもたちの見守り活動
○子育てサロンの開催
○高齢者を対象にしたサロンの開催
○高齢者の見守りネットワーク
○買い物、家事援助、送迎サービスなどの提供 など

市地域福祉計画の推進に向けて

市では、民生委員等との連携や福祉施策の実施により、同計画の基本理念と基本目標の実現をめざしています。福祉施策の効果をより高めるため、さまざまな機会をとらえ、地域の福祉課題や市民ニーズの把握に努めるとともに、市社会福祉協議会との連携を強化するなど、地域福祉の推進を図っていきます。

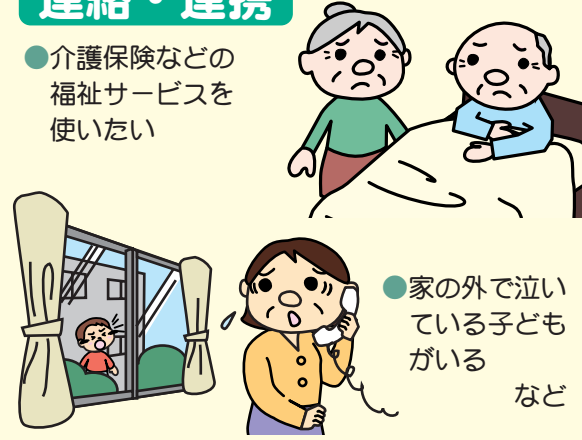
※市地域福祉計画は、地域福祉課が各行政資料コーナーでご覧になれるほか、市ホームページの暮らしの情報→福祉からもご覧になれます。

民生委員

困ったときは相談してください

連絡・連携

●介護保険などの福祉サービスを使いたい



地域包括支援センターが窓口になります

各区の子ども家庭相談課、児童相談所に連絡します

※福祉サービスを必要とする人と、福祉事務所や、社会福祉協議会等との連絡・調整なども行います。

訪問・見守り

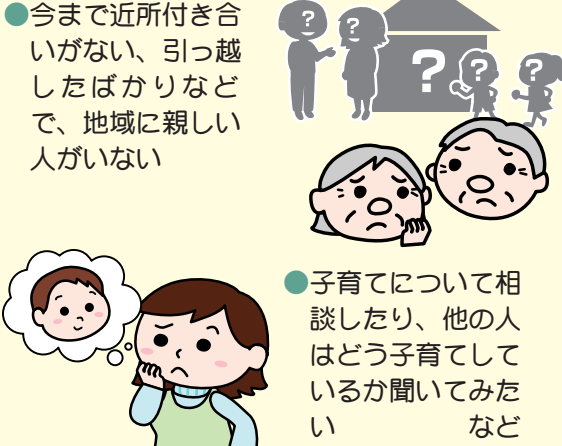
- 一人暮らしの人などの生活状況に何か変わったことがないか
- 青少年の非行防止 など



夜間パトロールを実施するなど

地域のコミュニティ活動を紹介

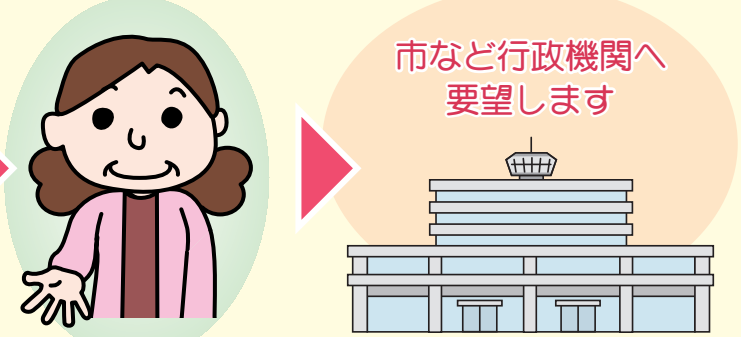
●今まで近所付き合いがない、引っ越したばかりなどで、地域に親しい人がいない



高齢者を対象にした「いきいきサロン」や、「子育てサロン」に参加してみませんか

課題などをまとめ行政機関等へ相談

- 地区内の道路で歩きにくい箇所や危ない箇所を調査する
- 住民から使いにくい福祉サービスなどがないか意見をもらう



Q & A 民生委員とは

Q どんな仕事をしているのですか？

A 住民の立場に立って、福祉に関することなどで悩んでいる市民の相談に応じたり、必要に応じて支援を行ったりする身近な相談相手です。原則、自治会の区域などを担当区域として活動しています。また、全ての民生委員は子どもに関わる援助などを行う「児童委員」としても活動し、一部の民生委員は児童虐待や子育て支援を専門的に担当する「主任児童委員」の仕事もしています。市では、地域福祉の推進に向けた地域での取り組みなどの中心的な役割を担っています。

Q どんな人がなれるのですか？

A 「社会福祉に対する理解と情熱があり、地域の実情に精通した」人として地域から推薦され、市民委員推薦会などの審査を経て、厚生労働大臣から委嘱されます。身分は非常勤の地方公務員です。

Q 相談にお金はかかりますか？

A 相談費用は無料です。民生委員は無報酬のボランティアですが、交通費や通信費などの活動費相当を自治体が支給しています。

Q 相談した内容は秘密にしてくれますか？

A 民生委員には、民生委員法により守秘義務が課せられています。相談内容は、関係のない人はもちろん利害関係がある場合は相談者の家族などにも、話すことはありません。

Q どこで相談できますか？

A 民生委員が自宅を訪問するか、会う場所を事前に決めて相談することができます。また、電話で相談することもできます。お住まいの地区を担当する民生委員の名前や電話番号がわからない場合はお問い合わせください。

皆さんの一言から始まる私たちの支援活動

以前、商店の人から「いつも顔を見せてくれる高齢者の姿を見かけない。心配だ」という話を聞きました。その人の家を訪問すると、かなり衰弱した状態で、救急車を呼び病院で診てもらったところ、そのまま入院したということがありました。

地域のどこに困っている人がいるか、全ての情報を私たちが得られるわけではありません。自治会や老人会など地域の会合に参加し、皆さんの話を聞くようにしていますが、市民の皆さんからも気になることを、話して欲しいと思っています。その一言から私たちの活動が始まっていくのです。

私たちが運営する地域のコミュニティには、お話ししたい人、悩んでいる人、誰かとの交流を望んでいる人など、さまざまな人が来ます。こうしたコミュニティが大きくなるほど、問題を抱えている人を周りの人が気付くことができたり、困っている人がいれば支えようという人が出てきたりする、お互いを助けあうことができる地域に近づいていくと思っています。



相模台地区担当民生委員 原 裕子さん(左)

市立博物館の催し

昼間の星見ちゃおう！ガイドツアー ※希望者は直接会場へ

天体観測室を公開し、40cm大型望遠鏡などの機材を紹介します。晴天のときは昼間の星を観望します。

日にち 12月26日(日)

時間 午前10時～10時40分、午前11時～11時40分、午後1時～1時40分
午後2時～2時40分、午後3時～3時40分

定員 各20人(先着順)

プラネタリウム・全天周映画 ※希望者は直接会場へ

定員 各210人(先着順) 観覧料 大人500円、4歳～中学生200円、65歳以上の人250円

上映時間	午前11時	午後1時30分	午後2時30分	午後3時30分
12月17日(金)まで 12月21日(火)・22日(水)	-	-		
12月18日(土)・19日(日)		プラネタリウム 「皆既月食12.21」		プラネタリウム 「皆既月食12.21」
12月23日(祝)～26日(日)	全天周映画 「銀河鉄道の夜」	全天周映画 「かいけつゾロリ宇宙たんけん 大さくせん」	全天周映画 「HAYABUSA」	
1月4日(火)～10日(祝)				プラネタリウム 「南十字星と逆さまオリオン～南 半球から見た星空～」
1月14日(金)	-	-		

※1月12日(水)・13日(木)は保守点検のため休映します。

市立博物館 〒252-0221 中央区高根3-1-15
 ☎042-750-8030 042-750-8061 開館時間 午前9時30分～午後5時
 12月・1月の休館日 月曜日(祝日を除く)、12月24日(金)、12月28日(火)
 ～1月3日(月)、1月11日(火)

東林ふれあいセンターの教室

シルバードダンス〈全8回〉

日時 1月22日～3月12日の毎週土曜日午前9時30分～正午

対象 60歳以上の人=50人(申込順)

費用 2,500円

書道〈全10回〉

日時 1月22日～3月26日の毎週土曜日午後1時30分～3時30分

対象 小学生以上の人=20人(申込順)

費用 4,000円(中学生以下の人2,000円)

ソフトエアロビクス〈全10回〉

日時 1月23日～3月27日の毎週日曜日午後1時30分～3時

対象 18歳以上の人=30人(申込順)

費用 5,000円

プロ棋士による将棋〈全5回〉

日時 2月6日～3月6日の毎週日曜日午前9時30分～11時30分

対象 小学生以上の級位者=30人(申込順)

費用 3,000円

申し込み 直接か電話で同センター(☎042-745-7660)へ

冬季ポニー教室〈全5回〉

ポニー乗馬や、エサあげなどを体験します。

日にち 2月6日～27日の毎週日曜日、
2月11日(祝)

時間 午前9時40分～正午

会場 相模原麻溝公園ふれあい動物広場

対象 市内在住の小・中学生(保護者同伴)

定員 20人(抽選)

申し込み 往復はがきに住所、氏名(ふりがな)、学年、性別、電話番号、保護者名、「冬季ポニー教室」と書いて、1月24日(必着)までに同広場(〒252-0328 南区麻溝台2317-1 ☎042-778-3900)へ



グリーンカレッジつくい冬期講座

講座名	日にち	時間	定員(抽選)	費用
書道 〈全5回〉	1月15日・29日 2月12日・26日 3月12日の土曜日	午後1時30分 ～3時30分	各15人	1,500円
ヨガ 〈全4回〉	2月4日・18日、3月 4日・18日の金曜日	午前10時 ～正午		3,000円

申し込み 津久井生涯学習センターにある申込書か、電話、はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、講座名を書いて、12月26日(必着)までに同センターへ

津久井ふるさと談義 道志川を語る〈全2回〉

道志川の水と魚についての講義とフリーディスカッションを行います。

日時 1月29日(土)、2月19日(土)午後1時30分 定員 30人(申込順)

申し込み 電話で津久井生涯学習センターへ

会場 津久井生涯学習センター ☎042-784-2400
〒252-0159 緑区三ヶ木414

はじめてのデッサン教室〈全3回〉

日時 1月12日～26日の毎週水曜日午後6時30分～8時30分

会場 サン・エールさがみはら

定員 10人(抽選) 費用 3,000円

申し込み 往復はがきに住所、氏名、電話番号、「はじめてのデッサン教室」と書いて、12月24日(必着)までに同所(〒252-0131 緑区西橋本5-4-20 ☎042-775-5665)へ

障害者スポーツ講座

①フットサル〈全3回〉

日にち 1月9日・30日、2月13日の日曜日

対象 市内在住か在勤・在学の知的障害児・者

定員 20人、ボランティア多数(申込順)

②サウンドテーブルテニス〈全3回〉

専用の卓球台・ラケット、音のでる球を使います。

日にち 1月22日、2月5日・19日の土曜日

対象 市内在住か在勤・在学の身体障害児・者

定員 10人、ボランティア10人(申込順)

時間 午前9時30分～11時30分 会場 けやき体育館

申し込み 直接か電話、ファクスに住所、氏名、電話番号、講座名を書いて、①1月5日②1月15日までにけやき体育館(☎042-753-9030 ☎042-769-1200)へ



12月23日(祝) さがみはらグリーンプールの催し

クリスマス会

サンタクロースと一緒に写真を撮ろう。

時間 午前10時～午後3時

アート体験

リース作りや折り紙などを行います。

時間 午前11時～午後2時

※希望者は直接会場へ

お問い合わせ さがみはらグリーンプール ☎042-758-3151



みんなの スポ・レク情報

相模原麻溝公園競技場の催し・教室

初日の出を見よう！メインスタンドを開放します。

1月1日(祝) 時間 午前6時～7時30分
※希望者は直接会場へ

①キッズスポーツ

日時 1月6日～3月31日の毎週木曜日午後4時～5時
対象 小学校1～3年生=各日20人(申込順) 費用 各300円

②サッカー

日時 1月10日～3月28日の毎週月曜日午後4時～5時
対象 小学校1～3年生=各日20人(申込順)
費用 各300円

③運動不足解消プログラム〈全10回〉

日にち 1月14日～3月25日(2月11日を除く)の毎週金曜日
時間 午後1時30分～2時30分
対象 18歳以上の人=20人(申込順) 費用 5,000円

④シェイプアップ〈全10回〉

日にち 1月14日～3月25日(2月11日を除く)の毎週金曜日
時間 午後3時30分～4時30分
対象 18歳以上の人=20人(申込順) 費用 5,000円

⑤ストレッチボール体験

日にち 1月17日(月)、2月21日(月)、3月3日(木)・22日(火)
時間 午後1時30分～2時30分
対象 18歳以上の人=各日20人(申込順)
費用 各500円

⑥シェイプアップヨガ〈全8回〉

日時 1月20日～3月10日の毎週木曜日午前11時～正午
対象 18歳以上の人=20人(申込順) 費用 5,000円

⑦お手軽ヨガ〈全8回〉

日にち 1月21日～3月18日(2月11日を除く)の毎週金曜日
時間 午前11時～正午
対象 18歳以上の人=20人(申込順) 費用 5,000円

⑧元気なシニア健康体操〈全8回〉

日時 1月24日～3月14日の毎週月曜日午前10時30分～11時45分
対象 60歳以上の人=20人(申込順)
費用 2,400円

※内容について詳しくは、お問い合わせください。

申し込み ①②はファクスかEメール、③～⑧は電話か、ファクス、Eメールに住所、氏名、年齢、性別、電話番号、教室名を書いて、同競技場(☎042-777-6088 ☎042-777-0161 Eメール asamizo-stadium@dream.jp)へ

フットサル大会

日時 1月16日(日) 午前9時～午後5時
会場 総合体育館
対象 市内在住か在学の小学校5年生を中心に編成したチーム
定員 24チーム(抽選) 費用 3,000円
申し込み 同館にある申込用紙(市都市整備公社のホームページからダウンロード可)を、12月27日までに同館(☎042-748-1781)へ

寒中水泳大会

日時 1月1日(祝) 正午～午後1時30分
会場 相模川高田橋(下流)付近
定員 200人(先着順)
※希望者は、水着と履物を持って直接会場へ

スポーツチャンバラ新春講習会

日時	会場
1月7日(金)午後7時～8時30分	総合体育館
1月8日(土)午前10時～11時45分	北総合体育館

対象 4歳以上の人 ※希望者は直接会場へ

民踊踊り初め

日時 1月10日(祝)午後1時30分～3時30分
会場 あじさい会館
費用 500円 ※希望者は直接会場へ

市体育協会からのお知らせ

日帰りスキースクール

日にち 2月13日(日)
集合 午前5時=市南区合同庁舎
午前5時15分=市役所
会場 サンメドウズ清里スキー場(山梨県)
定員 40人(抽選)
費用 講習あり=9,500円(小学生以下6,500円)
講習なし=7,500円(小学生以下6,500円)
※板・靴・ウェアのレンタル代は別途必要
申し込み はがきに住所、氏名、生年月日、性別、電話番号、集合場所、レンタル希望者は身長、靴・服のサイズ、講習の有無を書いて、1月21日(必着)までに市体育協会へ

ヨーガ教室〈全7回〉

日にち	時間	対象	定員
1月19日～3月2日の毎週水曜日	午前9時30分～10時30分	15歳以上の人(中学生を除く)	各25人(抽選)
	午前11時～正午		

会場 北総合体育館 費用 各3,000円
申し込み 往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、希望時間を書いて、1月4日(必着)までに同館(〒252-0134 緑区下九沢2368-1 ☎042-763-7711)へ

銀河アリーナの教室

幼児スケート〈全4回〉

日時 1月8日～29日の毎週土曜日午前9時～10時30分
対象 4歳以上の未就学児=20人(抽選)
費用 3,000円(貸し靴は別途200円)

申し込み 往復はがきに住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、「幼児スケート教室」と書いて、12月22日(必着)までに同所へ

早朝スケート

日時 1月9日～2月27日の毎週日曜日午前6時30分～8時30分
対象 4歳以上の人
費用 各500円<貸し靴は別途400円(中学生以下の人200円)>
※希望者は直接会場へ

ジュニアスケート

内容	日にち	時間	対象
スピードスケート・フィギュアスケート	1月6日～2月24日の毎週木曜日	午後6時30分～8時15分	5歳～中学生
アイスホッケー	1月11日～2月22日の毎週火曜日		

費用 各500円(貸し靴は別途200円)

※希望者は直接会場へ

いきいき健康体操〈全10回〉

日時 1月13日～3月17日の毎週木曜日午前10時～11時30分
対象 18歳以上の人=20人(抽選) 費用 4,500円

申し込み 往復はがきに住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、「いきいき健康体操教室」と書いて、12月29日(必着)までに同所へ

簡単ネイルアート

日時 1月14日(金) 午後7時～9時
対象 18歳以上の人=20人(抽選) 費用 2,000円

申し込み 往復はがきに住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、「簡単ネイルアート教室」と書いて、12月22日(必着)までに同所へ

カーリング〈全2回〉

コース	日にち	時間	申込期間
1月	20日(木)・21日(金)	午後8時30分～10時45分	1月1日～19日
2月	17日(木)・18日(金)		2月1日～16日

対象 中学生以上の人=各50人(申込順)
※18歳未満の人は保護者同伴か送迎、または参加同意書が必要
費用 各2,000円
申し込み 直接か電話で、各申込期間に同所へ

お問い合わせ 銀河アリーナ ☎042-776-5311
〒252-0229 中央区弥栄3-1-6

グリーンカップバレーボール大会

日にち 2月19日(土) 会場 総合体育館
対象 原則小学校区で構成されたチーム(家庭婦人)
費用 市バレーボール協会登録チーム3,000円、未登録チーム5,000円
申し込み 市体育協会にある申込用紙(市体育協会ホームページからダウンロード可)と費用を1月20日(必着)までに市バレーボール協会事務局へ

市体育協会 ☎042-751-5552
〒252-0236 中央区富士見6-6-23
けやき会館内
HP <http://www.jade.dti.ne.jp/~taikyo/>

情報 あら・かると 市役所 ☎042-754-1111(代)

お知らせ

建物を取り壊したときは連絡を

今年中に取り壊した建物には、平成23年度から固定資産税・都市計画税が課税されません。また「事務所や店舗から住宅へ」など建物の利用状況に変更があったときは、課税内容が変更になる場合があります。

問資産課課

- ①法律②社会保険労務士③税務相談のお休み

中央区役所市民相談室

日①12月28日(火)・1月4日(火) ②1月5日(水)

問同相談室 (☎042-769-8230)

緑区役所市民相談室

日①1月5日(水)

問同相談室 (☎042-775-1773)

南区役所市民相談室

日③12月27日(月)

問同相談室 (☎042-749-2171)

弁護士による交通事故相談

毎月第2月曜日(1月10日を除く)に加えて相談を実施

日①12月27日(月)

②1月17日(月)

時午後1時30分～4時

会中央区役所市民相談室

定各5人(申込順)

申電話で①12月22日②1月12日から同相談室(☎042-769-8230)へ

平成21年度「一般廃棄物処理基本計画」の取り組み状況

21年3月に策定した同計画の取り組み状況を公表します。

詳しくは各行政資料コーナー・まちづくりセンター・公民館で閲覧するか、市ホームページの「暮らしの情報」→「リサイクルとごみ」→「計画・統計など」をご覧ください。

問廃棄物政策課

チャリティーカレンダーを販売

企業等から提供されたカレンダーを販売し、子どもたちの教育支援に役立てます。

日12月25日(土)～1月15日(土) 費100円

※販売場所など詳しくは、相模原商工会議所ホームページをご覧ください。

問同所 (☎042-753-8135)

陣馬街道の車両通行止め

斜面崩落防止工事のため、次のとおり車両通行止めになります。

工事箇所 八王子市上恩方町地内

通行止区間 和田峠頂上ゲート～陣馬高原下バス停先ゲート

通行止期間 1月中旬～3月下旬(日曜日、祝日を除く)の午前8時～午後5時

※歩行者は終日通行可能

問東京都南多摩西部建設事務所 (☎042-643-2673)

年末ジャンボ宝くじ 12月24日まで販売

市内で購入された宝くじの収益金の一部は、本市のさまざまな事業の財源に役立てられます。ぜひ、市内の宝くじ売場でお買い求めください。

問財務課

募集

市役所、各総合事務所等の非常勤職員(事務補助)

データ入力、文書整理、窓口・電話対応など

登録期間 2月中旬～平成24年3月

勤務 月～金曜日で市が指定する日、午前9時15分～午後3時30分(午前9時45分～午後4時の1日5時間30分(勤務のない月もあり))

賃金 時給820円

対市内在住でパソコン操作ができる人=80人程度(選考)

申往復はがきの往信面に自分の住所・氏名・電話番号・「非常勤職員登録面接申し込み」、返信面に自分の住所・氏名を書いて、12月24日(消印有効)までに職員課(〒252-5277 中央区中央2-11-15 ☎042-769-8213)へ

面接日 1月29日(土) 面接会場 けやき会館 ※面接時間は返信はがきで1月15日までにお知らせします。

図書館利用相談員

窓口業務や資料整理など 勤務 4月～平成24年3月の週5日(土・日曜日、祝日を含む)、午前8時30分～午後8時のうち7時間の交代制

勤務場所 市立図書館(中央区鹿沼台)、相武台分館

報酬 月額20万5,400円

対市内在住で司書(補)か司書教諭の資格がある人=7人程度

申各図書館にある申込書(図書館ホームページからダウンロード可)と必要書類を12月26日まで(20日を除く)に市立図書館(☎042-754-3604)へ

小原宿本陣の非常勤職員

施設管理や受付、案内など 勤務 4月から3月3日程度、午前9時15分～午後4時15分

賃金 時給818円

定6人

申直接か郵送で履歴書(写真貼付)を12月24日までに生涯学習課相模湖教育班(〒252-5162 緑区与瀬896 ☎042-684-3257)へ

相武台地域包括支援センターの職員

勤務 正規職員は週5日(土曜日、祝日を含む)で午前8時30分～午後5時、非常勤職員は週30時間

対看護師か保健師の資格がある人

定1人 申電話連絡の上、履歴書(写真貼付)と資格証を持って同センター(☎042-745-2644)へ

自立支援医療(精神通院)の診療報酬明細書点検嘱託員

勤務 月10日程度で午前9時45分～午後4時30分

報酬 日額8,800円

対医療事務技能審査試験等に合格した人

定若干名

申直接か郵送で履歴書を12月27日(消印有効)までに精神保健福祉課(〒252-5277 中央区中央2-11-15 ☎042-769-9813)へ

市立小・中学校の歯科健康診断記録員

勤務 4月～6月の指定する日 賃金 時給1,000円

定若干名

申電話で各面接日の前日までに学校保健課(☎042-769-8283)へ ※1月28日(金)=市南区合同庁舎、31日(月)=市役所会議室棟で、午前10時～正午に面接あり

市体育協会の①正規職員 ②嘱託職員③臨時職員

スポーツ事業の企画運営、事務全般など

対①のみ昭和55年4月2日～平成5年4月1日に生まれた人

定若干名

申市体育協会にある申込書(同協会ホームページからダウンロード可)を12月26日(20日、23日を除く)までに同協会(☎042-751-5552)へ

※賃金・報酬など詳しくは、同協会のホームページをご覧ください。

さがみはら国際交流ラウンジのスタッフ

窓口や電話の応対、一般事務など

勤務 原則週1回

定9～12人

コーディネーター業務

勤務 原則週2回

定2人程度

パソコン業務

勤務 原則週1回

定1～2人程度

通訳・翻訳業務

募集言語や勤務など詳しくは、募集要項をご覧ください。

定各言語1人程度

賃金 時給820円

期間 4月～平成24年3月

申市国際化推進委員会事務局(涉外課内)、同ラウンジ、各公民館にある募集要項に付いている応募用紙を1月11日までに同ラウンジ(☎042-750-4150)か同事務局(☎042-769-8207)へ

サン・エールさがみはら「土曜コンサート」の出演者

対スタンダード曲を中心に10曲以上演奏できる勤労者団体

申サン・エールさがみはらにある申込書(同所ホームページからダウンロード可)とデモテープを、1月15日までに同所(☎042-775-5665)へ

市民若葉まつりの参加団体

活動発表や作品展、ステージ発表、パレードなど

日5月14日(土)午後1時～5時 15日(日)午前10時～午後5時

会市役所さくら通り他

対市内各種団体(個人、営利目的、物販のみの参加等は不可)

※参加条件など詳しくは、実施要項をご覧ください。

申商業観光課、城山・津久井・相模湖・藤野経済観光課にある実施要項に付いている申込書を12月24日までに各課へ

問同実行委員会事務局(商業観光課内 ☎042-769-8236)

写真で相模原を記録しよう

市民若葉まつりで展示する市内の自然や町並みなどを写した作品

対平成22年中に撮影したカラー・白黒でキャビネ版か2L版

※応募は1人10点まで。額入り不可

申直接か郵送で、作品の裏に住所、氏名、電話番号、題名、撮影年月日・場所、コメントを書いた紙を貼り、1月29日までに、写真で相模原を記録する会の石井 肇さん(〒252-0202 中央区淵野辺本町2-2-18 ☎042-753-2769)へ

イベント

視聴覚ライブラリーの催し

相模原なつかし映画館

「獅子舞復活」(昭和49年度制作)、「相模原の祭礼行事」(昭和63年度制作)他

日1月7日(金)午後2時～4時 お楽しみ時代劇鑑賞会

風間杜夫主演「銭形平次」第8話「人情、雛祭り」

日1月8日(土) 時午前10時30分～11時15分

子ども映画会

「じごくのそうべえ」、「長ぐつをはいた猫」他

日1月8日(土) 時午後2時～3時30分

※幼児は保護者同伴

会市立図書館(中央区鹿沼台)

対市内在住か在勤・在学の人

定各180人(先着順) ※希望者は直接会場へ

問同ライブラリー(☎042-753-2401)

クリスマス・ゴスペル・ライブ2010

日12月25日(土) 時午後4時40分～6時

会相模大野駅北口コリドー通り・ペDESTリアンデッキ

問商業観光課

県立相模原公園のマンズリーコンサート

ボーカルアンサンブルコンサート

日12月19日(日) 時午後1時30分～3時

会問同公園サカタのタネグリーンハウス(☎042-778-6816)

凡例

日=日時 日=日にち 時=時間 会=会場 講=講師 対=対象 費=費用(記載のない場合は無料) 定=定員(指定のないものは選考)
申=申し込み(期限で指定のないものは、必着) 問=お問い合わせ ☎=電話 ファクス Eメール HP=ホームページ

ソレイユさがみの催し

相模原市の男女共同参画「年次報告書」の学習会

時1月7日(金)午後2時~3時30分
定20人(申込順)

であいのサロン

自分らしい生き方をみつける場

時1月10日(祝)午前10時~正午
定30人(申込順)

「わたし流発見!仕事と育児の両立のコツ」〈全3回〉

「働く」計画づくりなど

時1月13日・20日、2月3日の木曜日午前9時30分~正午

対女性=15人(申込順)

※1歳以上の保育あり(要予約)

子育ておしゃべりサロン

自分らしい子育てをみつける場

日1月17日(月)
時午前10時30分~11時30分

対1歳未満の初めての子とその保護者=10組(申込順)

講演会「宇宙から山へ プロクライマーから学ぶチャレンジ精神」

挑戦することの大切さについて

時1月22日(土)午後2時~4時
講尾川智子さん(プロフリークライマー)

定100人(申込順)

「大学生といっしょに世界のコマを作って遊ぼう!」

時1月29日(土)午前10時~正午
対小学生=20人(申込順)

※保護者の参加も可

女性のための初級パソコン教室「ワード・エクセルコース」〈全2回〉

日1月30日、2月6日の日曜日
時午前9時30分~午後3時30分

定20人(申込順)

費4,000円(テキスト代含む)

申直接か電話、ファクスに氏名、電話番号、催し名を書いて、同所(緑区橋本6-2-1 ☎042-775-1775 ファクス042-775-1776)へ

※未就学児(2歳以上)の保育あり(要予約)

文化財保護ポスター展

市内中学生の作品全144点を展示
あじさい会館

日1月28日(金)~30日(日)
時午前10時~午後5時(28日は正午から、30日は午後4時まで)

津久井中央公民館

時2月19日(土)正午~午後5時
20日(日)午前10時~午後4時

問文化財保護課

相模川ふれあい科学館の催し

12月21日~1月10日は休まず開館

新しいなかまがやって来た!

世界的希少種の「アジアアロワナ」を展示

時午前9時30分~午後4時30分
費300円(小・中学生100円、65歳以上の人150円)

問同館(☎042-762-2110)

講演・講座

保護者向け不登校対応セミナー

同じ悩みを持つ人たちと話し合います。

時1月19日(水)午後2時~4時
会青少年相談センター

対不登校や登校しぶりのある児童・生徒の保護者=30人(申込順)

申電話で同センター(☎042-769-8285)へ

水谷修氏(夜回り先生)講演会

テーマは「君たちの明日のために今日がある」~相模原市の未来を担う子どもたちのために~

時1月9日(日)午後2時15分
会市民会館 定400人(先着順)

※当日午後1時から1人1枚入場券を配布

問宅建協会相模北支部(☎042-755-2398)

危険物取扱者試験と受験準備講習会、保安講習会

危険物取扱者試験

日2月20日(日)
会神奈川大学

申願書を1月11日(消印有効)までに消防試験研究センター神奈川県支部(☎045-633-5051)へ

受験準備講習会

日2月8日(火)
時午前9時30分~午後5時

会消防指令センター

対乙種第4類の危険物取扱者試験の受験者=100人(申込順)

費9,000円(テキスト代含む)
申申込書と受講料を、市防災協会(☎042-753-9971)か津久井消防署(☎042-685-0119)へ

保安講習会

日2月22日(火)
会産業会館

対危険物取扱者免状があり、危険物施設で危険物取扱作業に従事している人=第1種(給油取扱所)、第3種(一般)各220人(申込順)

費4,700円

申申込書を県危険物安全協会連合会(☎046-826-2177)へ

※願書や講習会の申込書は予防課、各消防署・分署にあります。

市民公開講座「地域に根ざす傾聴活動」

地域活動や日常に生かす聞き方、コミュニケーションについて

日1月29日(土)
時午前9時45分~11時30分

会智泉会はあとぴあ(中央区清新)
定60人(抽選)

費500円(資料代他)

申はがきに住所、氏名、電話番号を書いて、1月20日までに傾聴ボランティアの会相模原(〒252-0236 中央区富士見6-1-20 あじさい会館ボランティアセンター内)へ

問同会の瀧川さん(☎090-8080-4063)

パソコン研修1月コース

パソコン無料体験(90分)、パソコン入門、ワード(文書作成)・エクセル(表計算等)各基礎、電子メール、ホームページ作成など

会産業会館
定各10~15人(申込順)

費3時間コース4,000円から

申電話かインターネットで同館(☎042-753-8133 HPhttp://www.sankai06.jp/)へ

固定資産税・都市計画税 第4期 国民健康保険税 第7期

納期限 12月27日(月)

コンビニエンスストアでも納付できます

納税は便利な口座振替で

申金融機関の窓口へ

読者のひろば(敬称略)

催し 費用の記載がない場合は無料です。

▼光明学園相模原高校「和太鼓部発表会」12月23日(祝)午後1時30分~4時30分、市民会館、定員1,200人 問緒方(☎042-778-3333)

▼迎春小品盆栽展 各日先着100人に手作りの小鉢をプレゼント。1月14日(金)~16日(日)午前10時~午後5時(14日は正午から、16日は午後3時30分まで)、相模原市民ギャラリー 問多田(☎042-743-5859)

▼子どもミュージカル 毎週土曜日午前10時、大和市内の公共施設。対象は小学生~高校生 問木谷(☎080-5483-6105)

▼社交ダンス 毎週水曜日午後7時30分、総合学習センター。初心者歓迎 問小島(☎080-1194-6918)

▼社交ダンス 毎週月曜日午前9時、総合学習センター他。初心者・女性歓迎 問志田(☎042-759-2407)

▼社交ダンス 毎週土曜日午後7時、共和中学校体育館 問大橋(☎080-3409-1175)

▼レクリエーションダンス 月3回月曜日午前か午後、相模台公民館 問本佛(☎042-744-2717)

▼ダンス 月3・4回火曜日午後1時と3時、東林ふれあいセンター 問谷岡(☎046-257-0627)

▼吹奏楽 毎週日曜日午後6時、大野中公民館。対象は吹奏楽・オーケストラ経験者 問松浦(☎042-815-3577)

▼英会話 週1回土曜日か日曜日午後1時、大野北公民館他。対象は中級者~上級者 問江島(☎042-741-8480)

▼英会話 月2回金曜日他午後7時、相原公民館。対象は初級者 問堀川(☎042-773-0329)

応募は発行日の3週間前まで

掲載を希望する場合は住所、氏名(ふりがな)、電話番号、掲載希望号、「読者のひろば」と書いて、原稿を郵送かファクスで広聴広報課(〒252-5277 中央区中央2-11-15 ☎042-753-7831)へ。市ホームページの「電子申請」からも申し込みます。

催しは過去6か月以内、仲間は過去1年以内に掲載された団体は応募できません。掲載は抽選(仲間は希望号と次号の2回)。不掲載の連絡、原稿の返却はしません。

掲載を希望する場合は住所、氏名(ふりがな)、電話番号、掲載希望号、「読者のひろば」と書いて、原稿を郵送かファクスで広聴広報課(〒252-5277 中央区中央2-11-15 ☎042-753-7831)へ。市ホームページの「電子申請」からも申し込みます。

催しは過去6か月以内、仲間は過去1年以内に掲載された団体は応募できません。掲載は抽選(仲間は希望号と次号の2回)。不掲載の連絡、原稿の返却はしません。

掲載を希望する場合は住所、氏名(ふりがな)、電話番号、掲載希望号、「読者のひろば」と書いて、原稿を郵送かファクスで広聴広報課(〒252-5277 中央区中央2-11-15 ☎042-753-7831)へ。市ホームページの「電子申請」からも申し込みます。

催しは過去6か月以内、仲間は過去1年以内に掲載された団体は応募できません。掲載は抽選(仲間は希望号と次号の2回)。不掲載の連絡、原稿の返却はしません。

掲載を希望する場合は住所、氏名(ふりがな)、電話番号、掲載希望号、「読者のひろば」と書いて、原稿を郵送かファクスで広聴広報課(〒252-5277 中央区中央2-11-15 ☎042-753-7831)へ。市ホームページの「電子申請」からも申し込みます。

催しは過去6か月以内、仲間は過去1年以内に掲載された団体は応募できません。掲載は抽選(仲間は希望号と次号の2回)。不掲載の連絡、原稿の返却はしません。

掲載を希望する場合は住所、氏名(ふりがな)、電話番号、掲載希望号、「読者のひろば」と書いて、原稿を郵送かファクスで広聴広報課(〒252-5277 中央区中央2-11-15 ☎042-753-7831)へ。市ホームページの「電子申請」からも申し込みます。

催しは過去6か月以内、仲間は過去1年以内に掲載された団体は応募できません。掲載は抽選(仲間は希望号と次号の2回)。不掲載の連絡、原稿の返却はしません。

掲載を希望する場合は住所、氏名(ふりがな)、電話番号、掲載希望号、「読者のひろば」と書いて、原稿を郵送かファクスで広聴広報課(〒252-5277 中央区中央2-11-15 ☎042-753-7831)へ。市ホームページの「電子申請」からも申し込みます。

催しは過去6か月以内、仲間は過去1年以内に掲載された団体は応募できません。掲載は抽選(仲間は希望号と次号の2回)。不掲載の連絡、原稿の返却はしません。

掲載を希望する場合は住所、氏名(ふりがな)、電話番号、掲載希望号、「読者のひろば」と書いて、原稿を郵送かファクスで広聴広報課(〒252-5277 中央区中央2-11-15 ☎042-753-7831)へ。市ホームページの「電子申請」からも申し込みます。

催しは過去6か月以内、仲間は過去1年以内に掲載された団体は応募できません。掲載は抽選(仲間は希望号と次号の2回)。不掲載の連絡、原稿の返却はしません。

掲載を希望する場合は住所、氏名(ふりがな)、電話番号、掲載希望号、「読者のひろば」と書いて、原稿を郵送かファクスで広聴広報課(〒252-5277 中央区中央2-11-15 ☎042-753-7831)へ。市ホームページの「電子申請」からも申し込みます。

催しは過去6か月以内、仲間は過去1年以内に掲載された団体は応募できません。掲載は抽選(仲間は希望号と次号の2回)。不掲載の連絡、原稿の返却はしません。

掲載を希望する場合は住所、氏名(ふりがな)、電話番号、掲載希望号、「読者のひろば」と書いて、原稿を郵送かファクスで広聴広報課(〒252-5277 中央区中央2-11-15 ☎042-753-7831)へ。市ホームページの「電子申請」からも申し込みます。

催しは過去6か月以内、仲間は過去1年以内に掲載された団体は応募できません。掲載は抽選(仲間は希望号と次号の2回)。不掲載の連絡、原稿の返却はしません。

掲載を希望する場合は住所、氏名(ふりがな)、電話番号、掲載希望号、「読者のひろば」と書いて、原稿を郵送かファクスで広聴広報課(〒252-5277 中央区中央2-11-15 ☎042-753-7831)へ。市ホームページの「電子申請」からも申し込みます。

催しは過去6か月以内、仲間は過去1年以内に掲載された団体は応募できません。掲載は抽選(仲間は希望号と次号の2回)。不掲載の連絡、原稿の返却はしません。

掲載を希望する場合は住所、氏名(ふりがな)、電話番号、掲載希望号、「読者のひろば」と書いて、原稿を郵送かファクスで広聴広報課(〒252-5277 中央区中央2-11-15 ☎042-753-7831)へ。市ホームページの「電子申請」からも申し込みます。

催しは過去6か月以内、仲間は過去1年以内に掲載された団体は応募できません。掲載は抽選(仲間は希望号と次号の2回)。不掲載の連絡、原稿の返却はしません。

掲載を希望する場合は住所、氏名(ふりがな)、電話番号、掲載希望号、「読者のひろば」と書いて、原稿を郵送かファクスで広聴広報課(〒252-5277 中央区中央2-11-15 ☎042-753-7831)へ。市ホームページの「電子申請」からも申し込みます。

催しは過去6か月以内、仲間は過去1年以内に掲載された団体は応募できません。掲載は抽選(仲間は希望号と次号の2回)。不掲載の連絡、原稿の返却はしません。

掲載を希望する場合は住所、氏名(ふりがな)、電話番号、掲載希望号、「読者のひろば」と書いて、原稿を郵送かファクスで広聴広報課(〒252-5277 中央区中央2-11-15 ☎042-753-7831)へ。市ホームページの「電子申請」からも申し込みます。

催しは過去6か月以内、仲間は過去1年以内に掲載された団体は応募できません。掲載は抽選(仲間は希望号と次号の2回)。不掲載の連絡、原稿の返却はしません。

2010年 平成22年

広報 さがみはら

12/15

No.0009

毎月15日発行

ちゅうおう 区版

http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/chuoku/

区の人口・世帯

人口 **265,703** 人
男 135,584 / 女 130,119

世帯数 **111,730** 世帯
平成22年9月1日現在

現在、国勢調査結果集計中のため、9月1日現在になっています。

発行/相模原市 編集/中央区役所総務課
〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15
市役所本庁舎内

☎042-769-9802



火の用心

「消したかな」あなたを守る 合言葉

「戸締まり用心、火の用心!」。寒い夜に火災予防を呼び掛ける声が聞こえてくると、今年も終わりが近づいてきた実感が湧いてきます。毎年、消防団や自治会の人たちが巡回して、私たちのまちを見守ります。

『「消したかな」あなたを守る 合言葉』(※)をスローガンに、一人ひとりが注意して、火災を起こさず笑顔で明るい新年を迎えましょう!

※平成22年度全国統一防火標語

相模原消防団 女性部部长
西海 幸枝さん



「皆さん、火の元は大丈夫ですか!？」年末は、クリスマスやお正月のごちそう作りで台所に立つ機会が増えると思います。ガスこんろの消し忘れなどに十分注意して、火災を防ぎましょう。消防団では、男女を問わず団員を募集しています。皆さんも、ぜひ消防団活動と一緒に参加してみませんか。

お問い合わせ 消防総務課 ☎042-751-9116

住宅防火いのちを守る 3つの習慣 4つの対策

3つの習慣

- ①寝たばこは、絶対にやめる。
- ②ストーブは、燃えやすいものから離して使う。
- ③ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- ①逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- ②寝具や衣類、カーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- ③火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- ④お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

設置しましたか?住宅用火災警報器

平成23年6月1日から、全ての住宅に住宅用火災警報器が必要になります。お早目に設置をお願いします。

お問い合わせ 予防課 ☎042-751-9133

募集します! 中央区のシンボルマーク・カラー

区民の皆さんに、中央区をもっと身近に感じ親しみをもっていただくため、中央区の特色や個性をイメージした「中央区のシンボルマーク・カラー」を募集します。

シンボルマークに使用する色を中央区のカラーとし、決定したシンボルマーク・カラーは、広報紙やホームページをはじめ、将来にわたって広く使用していきます。

- 募集作品 中央区のイメージに最もふさわしいと思う色(濃淡で表さないカラー単色)を着色したシンボルマーク1点
○自作・未発表で、第三者が所有・管理する著作権や商標などを侵害しない作品
○カラーのみの応募はできません。

- 応募資格 市内在住か在勤・在学の人、市内で活動している人、「相模原・町田大学地域コンソーシアム」に参加している大学等の学生

応募について 期限: 1月31日(必着)

次の2点を直接か郵送、Eメールで、中央区役所地域政策課へ

- ①シンボルマークのデザイン 1点(A4サイズ、手書き可)
- ②専用の応募用紙か任意の用紙、Eメールの本文に次の事項を記入
・制作意図とカラーの着色理由(計300字以内)
・応募者の住所、氏名、年齢、職業(学生は学校名と学年)など

- 賞・副賞 最優秀作品(1作品) 賞金10万円 優秀作品(2作品) 賞金3万円
※賞金の額などについては、予算の議決を経て正式決定します。

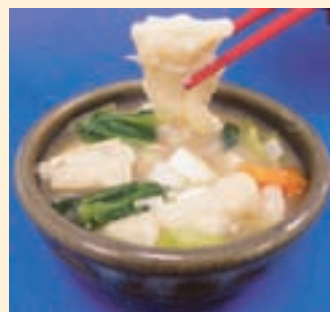
- 発表 5月頃発表する予定です。

※応募にあたっての注意事項など、詳しくは中央区ホームページか、中央区役所地域政策課、各まちづくりセンター・公民館などにある募集案内(応募用紙)をご覧ください。

応募先・お問い合わせ 中央区役所地域政策課
☎042-769-9801 〒252-5277 中央区中央2-11-15
Eメール c-chiikiseisaku@city.sagamihara.kanagawa.jp

さがみはら旬の味覚

煮だんご(とっちゃんげ)



- 材料(4人分)
じゃがいも: 1個
人参: 1/2本
玉ねぎ: 1個
小松菜: 1/2束
ねぎ: 1本
煮干だし汁: 1ℓ
小麦粉(薄力粉): 200g
みそ: 大さじ3
しょうゆ: 少々

作り方

- ①じゃがいもは一口大、人参はいちょう切り、玉ねぎはくし型切りにする。
- ②小松菜は3cmぐらいのざく切りにしておく。ねぎは小口切りにする。
- ③煮干でだしを取り、①を入れ煮る。
- ④小麦粉を水(140ml位)でこねて手でちぎって③に入れ、10分から15分ぐらい煮る。
- ⑤みそで味をつけ、しょうゆを入れる。小松菜を入れ、最後にねぎを加えて出来あがり。

相模原では米があまりとれなかったため、小麦をよく食べていました。練った小麦粉を、とっちゃんげ、とっちゃんげ、鍋へ入れてコトコト煮ます。



提供 食生活改善推進団体 わかな会